

令和４年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立湖東中学校）

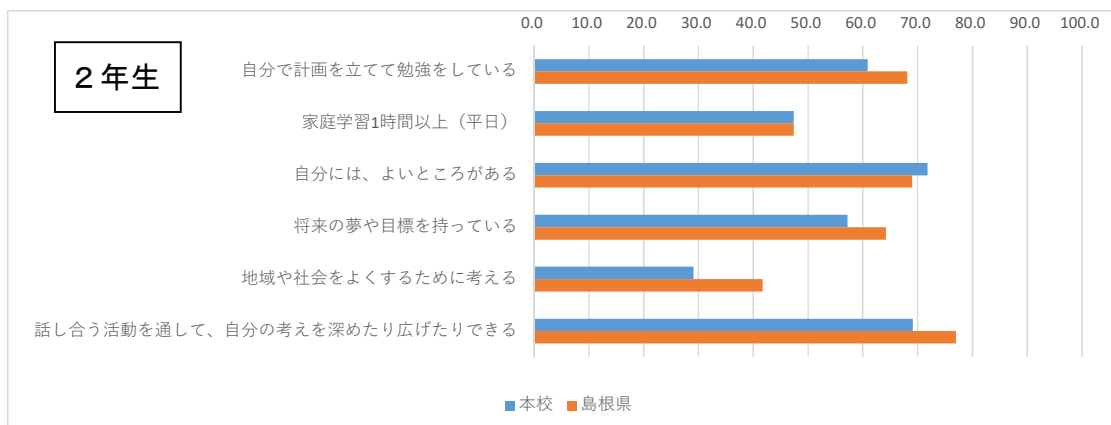
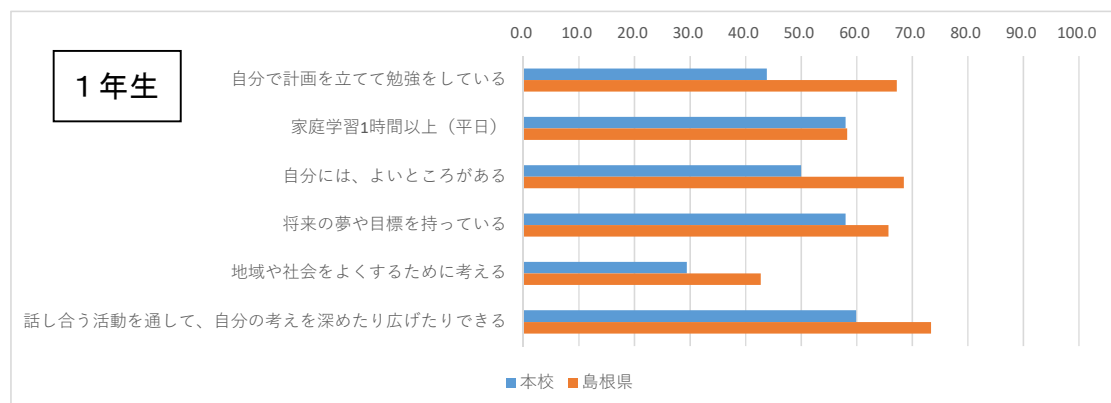
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

1 年 国 語	○説明的な文章を読み取る問の正答率は、おおむね目標値に達している。 ●漢字の書きの正答率が目標値を大きく下回り、小学校で学習した内容の定着が十分でない。 ●文章を書く問の正答率が目標値を大きく下回り、指示に沿って文章を書く力に課題がある。	2 年 国 語	○漢字の読みについては、目標値を上回り概ね定着している。 ●漢字の書きについて、数値から小学校で学習した内容の定着が十分でない。 ○文法・語句の知識・理解は目標値を大幅に上回っている。 ●伝えたい事柄について、根拠を明確にして文章を書くことに課題が見られる。
1 年 数 学	○基本的な用語の意味を問う内容は、おおむね目標値を上回っている。 ●計算については、正答率が各分野で正答率が下回っている。 ●説明や活用の問題に対しての苦手意識が強く、目標値を大きく下回り、無回答率も高くなっている。	2 年 数 学	○「1次関数の変化の割合を求める」「命題の仮定と結論を読み取る」といった内容は、目標値に到達していた。 ●説明問題や他と関連付けて考える問題は目標値を大きく下回っており、基礎的な内容を活用して解く応用問題に対応することが苦手である。
1 年 英 語	○リスニング(さまざまな英文の聞き取り)の正答率は目標値を上回った。 ●場面に応じて書く英作文については、未回答含め正答率が低く、書く力に課題がある。 ○リスニングについては、目標値には達していないものの、前年度の校内平均正答率を上回っており、聞く力はある程度持っている。 ●基礎、活用共に目標値を下回っているため、まずは基礎の定着を図る必要がある。	2 年 英 語	○基礎・活用共に前年度校内平均正答率を大きく上回った。 ●思・判・表の問の正答率が県・市町村に比べて低い。 ○語形・語法・語彙の知識・理解の正答率が県・市町村に比べて高い。 ●リスニング(内容理解・英文の聞き取り)、英文の読み取り、単語の並べ替えの正答率が県・市町村に比べて低い。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

1 年	●計画立案し、学習する意欲や習慣が身につけていない。 ●学習成績が起因と思われる自尊感情が低い。 ●地域との関係性が希薄である。 ●将来への展望が描けていない。 ○1日の復習課題を課しているために、1時間は家庭学習ができています。	2 年	○自己肯定感に関する項目で、県平均を上回った。 ●地域社会との関わりが希薄である。 ●家庭での学習時間が不足している。 ●将来の夢や目標をもっていない生徒が県平均よりも多い。
--------	---	--------	--

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 112名 2年生 110名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。